

明細書

化粧料容器

関連出願の相互参照

本出願は、2002年9月26日に出願された日本特許出願2002-280340号、2003年1月22日に出願された日本特許出願2003-13743号に基づく優先権を主張し、その内容を本明細書中に援用する。

技術分野

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器に関する。

背景技術

一般に化粧料容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧料容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願2001-49000号、特願2002-280340号、特願2002-304682号、特願2002-304683号、特願2002-321873号、特願2002-321874号を出願している。

ところで、従来の化粧料容器にあっては、製品としての化粧料容器を高級感溢れる

高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあっても、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があった。

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

発明の開示

本発明は以上の問題点を考慮してなされたものであり、その目的の1つは、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供することである。

前記の目的及び他の目的を達成するために、この発明の1つの実施形態に係わる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

また、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、前記交換用カバーと前記蓋体もしくは前記容器本体との間に、これらを係脱自在に係合する係合手段が設けられることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、係合手段の係脱操作によって、

簡単に交換用カバーの交換をすることが可能となる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、前記交換用カバーおよび前記容器本体もしくは前記蓋体のいずれか一方には、可撓変形自在なペント片が形成され、前記係合手段が、上記ペント片に形成された係合体と、上記交換用カバーおよび上記容器本体もしくは上記蓋体のいずれか他方に形成されて上記係合体に係脱自在に係合される被係合体とから構成されることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、係合手段による係脱操作の操作性の向上を図ることができる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、前記容器本体と前記蓋体との間にはそれらの両端にそれぞれ、これらを回動自在に連結するヒンジおよび該蓋体による該容器本体の閉止状態を維持するフックが設けられ、前記係合手段がこれらフック側およびヒンジ側に備えられることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、フックやヒンジを設けるスペースを利用して、合理的に係合手段を設けることが可能となる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋体に、上記交換用カバーへ向かって形成された貫通孔と、該貫通孔内に形成された係合体と、上記交換用カバーに形成され、上記貫通孔を貫通して上記蓋体から露出される操作片と、該操作片に形成され、上記係合体に係脱自在に係合される被係合体とを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、加飾部分が蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができるとなる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、前記交換用カバーが前記蓋体にその表面を覆って設けられ、上記蓋体には、前記容器本体を開閉するために

該容器本体に回動自在に連結されるヒンジ部が設けられ、前記貫通孔が上記ヒンジ部に形成されるとともに、前記操作片が上記蓋体の表面とは反対側の裏面から露出されることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、ヒンジ部を利用して、交換用カバーを取り付けるための貫通孔や係合部を備えるためのスペースが確保されて、化粧料容器の大型化が阻止されるとともに、操作片がヒンジ部において蓋体の裏面に露出されることから、化粧料容器の外観を良好に維持することも可能となる。

さらに、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体の外面に形成された窪み部と、該窪み部内に設けられた係合部と、上記交換用カバーに設けられ、上記窪み部を隠蔽する可撓変形可能な操作片と、該操作片に上記係合部と係脱自在に設けられ、該操作片の可撓変形に応じて該係合部から離脱される被係合部とを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。また係合部に被係合部を係合させるためのスペースである窪み部を操作片で隠蔽するようにして、化粧料容器の外観を良好に維持することも可能となる。

その他、本願が開示する課題、及びその解決方法は、発明の実施の形態の欄、及び図面により明らかにされる。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第1実施形態を示す側断面図である。

第2図は、第1図の化粧料容器のヒンジ周辺を示す部分拡大斜視図である。

第3図は、第1図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す過程を示すヒン

ジ周辺の部分拡大側断面図である。

第4図は、第1図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す過程を示すヒンジ周辺の部分拡大斜視図である。

第5図は、本発明にかかる化粧料容器の第1実施形態の変形例を示す、ヒンジ周辺の部分拡大斜視図である。

第6図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第2実施形態を示す側断面図である。

第7図は、図6の化粧料容器の蓋体を開いた状態を示す要部拡大斜視図である。

第8図は、図6の化粧料容器の蓋体を開いた状態を示す要部拡大断面図である。

第9図は、図6の化粧料容器の蓋体を開いた状態における、交換用カバーの取り外しもしくは取り付け過程を示す要部拡大断面図である。

第10図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第3実施形態を示す側断面図である。

第11図は、第10図の化粧料容器を後方から見た斜視図である。

第12図は、第10図の化粧料容器の一部分解斜視断面図である。

第13図は、第10図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最初の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

第14図は、第10図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最後の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

第15図は、本発明にかかる化粧料容器の第3実施形態の変形例を示す、化粧料容器を後方から見た斜視図である。

発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明にかかる化粧料容器に関し、幾つかの最良な実施の形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。

《第1実施形態》

以下に、本発明にかかる化粧料容器の第1実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧料容器101は第1図～図4に示すように、収納凹部102が形成された皿状の合成樹脂製容器本体103と、容器本体103の一端

にヒンジ104を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体103を開閉するとともに、容器本体103の他端にフック5を介して係脱自在に係合されて当該容器本体103の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体106と、蓋体106および容器本体103の少なくともいずれか一方、図示例にあっては蓋体106に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体106を覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー107とから主に構成される。

交換用カバー107は容器本体103を覆って設けられてもよく、また蓋体106および容器本体103の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体103、蓋体106、並びに交換用カバー107は平面外形輪郭が矩形状に形成されているけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体106の裏面には、鏡108が取り付けられている。

フック105は、容器本体103の一端に形成された凹所109内に突設されたフック用突起110と、蓋体106の一端から垂下されてフック用突起110に係脱自在に係合されるフック片111とから構成される。またヒンジ104は、フック105とは反対側において容器本体103の他端から一対突設されたヒンジ片112間に、蓋体106の他端から垂下させたヒンジブロック113が挟み込まれ、これらヒンジブロック113からヒンジ片112にわたってヒンジピン114が挿入されることで構成される。

交換用カバー107は、化粧料容器101、本実施形態にあっては蓋体106の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー107に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー107に対し一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。これら交換用カバー107は、その外形輪郭が容器本体103の外形輪郭と一致するようにはほぼ同じ外形寸法で形成されるとともに、この交換用カバー107が取り付けられる蓋体106は、取り付け代を確保するためにこれらよりも若干小さな外形寸法で形成され、交換用カバー107はこの蓋体106の上にこれを覆って重ね合わされる。交換用カバー107の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。

交換用カバー107と蓋体106との間には、これらを係脱自在に係合する係合手

段として、第1係合部115および第2係合部116が設けられる。これら係合部115, 116は、蓋体106の両端であるフック105側およびヒンジ104側にそれぞれ位置される。蓋体106のフック105周辺およびヒンジ104周辺は、容器本体103側へ拡張形成されていて、蓋体106の一般部分よりも広いスペースが得られる。フック105側の第1係合部115は、蓋体106側の第1係合体115aと交換用カバー107側の第1被係合体115bとから構成される。第1係合体115aは、フック片111が位置する蓋体106の一側縁全体をヒンジ104側へ向かって段違いに窪ませた凹部117の上に、この凹部117を部分的に覆うように突出させて形成される。また第1被係合体115bは、第1係合体115a側の交換用カバー107の一側縁全体を垂下させた垂下部118から、第1係合体115aに対応する部分を当該第1係合体115a下の凹部117に向かって突出させて形成される。

これら第1係合体115aと第1被係合体115bは、交換用カバー107を蓋体106の上から重ね合わせることによって、第1被係合体115bが第1係合体115aを乗り越えてその下の凹部117内に入り込むことにより、互いに係脱自在に係合されるようになっている。特に、乗り越える過程で第1被係合体115bが第1係合体115aと向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面119で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第1係合体115aと第1被係合体115bの隅角部同士120は、互いの係合が外れにくいように角をつけて形成される。

ヒンジ104側の第2係合部116も第1係合部115と同様に、蓋体106側の第2係合体116aと交換用カバー107側の第2被係合体116bとから構成される。第2係合体116aは、ヒンジブロック113となる蓋体106の他側縁全体をフック105側へ向かって段違いに窪ませた凹部121の上に、この凹部121を部分的に覆うように突出させて形成される。また第2被係合体116bは、第2係合体116a側の交換用カバー107の他側縁全体を垂下させた垂下部122から、第2係合体116aに対応する部分を当該第2係合体116a下の凹部121に向かって突出させて形成される。これら第2係合体116aと第2被係合体116bも、交換用カバー107を蓋体106の上から重ね合わせることによって、第2被係合体116bが第2係合体116aを乗り越えてその下の凹部121内に入り込むことにより、

互いに係脱自在に係合されるようになっている。この第2係合部116にあっては、乗り越える過程で第2係合体116aおよび第2被係合体116bが互いに向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面123で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第2係合体116aと第2被係合体116bの隅角部同士120aは、互いの係合が外れにくくように角をつけて形成される。

さらに本実施形態にあっては、第2係合部116が備えられる蓋体106のヒンジブロック113には、可撓変形自在なペント片124が形成され、このペント片124に第2係合体116aが設けられる。図示に従って説明すると、ヒンジブロック113にはこれを部分的に、フック105側の内壁部13aと第2係合体116aを備える外壁部113bとに分けるくぼみ部125が形成される。この外壁部113bには、第2係合体116aの両側に位置させてかつくぼみ部125と連通させて、凹部121からヒンジブロック113下端へ向かう一対の直線状のスリット126が形成され、これらスリット126間に、下端が外壁部113bに連結され上端が自由端となって、外壁部113bに対しバネ性を有する可撓変形自在なペント片124が形成される。

従って、第2係合部116にあっては、第2被係合体116bが第2係合体116aを乗り越えて係合するときには、ペント片124が可撓変形されて第2係合体116aがくぼみ部125側へシフトされるとともに、これらの係合を離脱させる際にも、ペント片124をくぼみ部125へ向かって可撓変形させることにより、第2係合体116aはくぼみ部125側へシフトされて第2被係合体116bから離脱される。第2係合体116aと第2被係合体116bの係合の向きを反対として、ペント片124を交換用カバー107に設け、第2被係合体116bをこのペント片124に設けるようにしてもよいことはもちろんである。

本実施形態にかかる化粧料容器101の作用について説明すると、化粧料容器101を購入した購買者が蓋体106に装着されている交換用カバー107を、他のデザインの新たな交換用カバー107に交換する際には、指などでペント片124を可撓変形させることにより第2係合体116aを第2被係合体116bから離脱させ、その後交換用カバー107を蓋体106に対して引き上げるようにする。このようにして第2係合部116を離脱させて交換用カバー107を蓋体106から分離させると、

第1係合部115の第1係合体115aと第1被係合体115bとの係合を離脱させることができ、交換用カバー107を蓋体106から取り外すことができる。次いで新たな交換用カバー107を蓋体106に装着する際には、第1係合部115を係合させた状態で、第2係合部116側において交換用カバー107を蓋体106に向かって押し付ければ、ペント片124の可撓変形を伴って、第2被係合体116bが第2係合体116aと係合し、これにより新しい交換用カバー107を蓋体106に重ね合わせて取り付けることができる。

以上説明したように、この第1実施形態にかかる化粧料容器101にあっては、蓋体106に交換可能にこれを覆う交換用カバー107を着脱自在に設けたので、化粧料容器101の外観が生産者の選定したデザインに限定されることはなく、化粧料容器101として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができます。また交換用カバー107としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー107から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることができなくて、製品としての化粧料容器101を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

また、交換用カバー107と蓋体106との間にこれらを係脱自在に係合する係合手段として第1係合部115および第2係合部116を設けていて、これら係合部115、116の係脱操作によって、簡単に交換用カバー107の交換をすることができる。また、蓋体106に可撓変形自在なペント片124を形成し、第2係合部116を、ペント片124に形成した第2係合体116aと交換用カバー107に形成した第2被係合体116bとから構成したので、ペント片124の可撓変形作用を利用して、第2係合部116の係脱操作の操作性を向上させることができる。さらに、第1係合部115および第2係合部116をフック105側およびヒンジ104側に備えるようにして置いて、これら係合部115、116を設置するにあたって、フック105やヒンジ104を構成するために容器本体103側に拡張されたスペースを合理的に利用することができる。また、交換操作位置となるペント片124が部分的に化粧料容器101の外観に現れているので、交換するときの操作位置を簡単に見つけることができる。

第5図には、上記実施形態の変形例が示されている。この変形例では、ペント片124のバネ性を柔らかめに設定すべく、外壁部113bと連結される当該ペント片124下端の幅を狭くするために、一対のスリット126aはその下方で互いに近づくU字形状を描くように形成される。このような変形例にあっても、上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。

この第1実施形態にあっては、蓋体106に交換可能にこれを覆う交換用カバー107を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体103に交換用カバー107を設ける場合には、容器本体103と交換用カバー107との間にこれらを係脱自在に係合する係合手段を設けるようにし、この際、ペント片124および係合体は、容器本体103もしくは交換用カバー107のいずれか一方に設ける一方で、被係合体は他方に設けるようにする。また容器本体103に交換用カバー107を設ける場合であっても、係合手段はヒンジ104側およびフック105側に設けることができる。さらに、本実施形態にあっては、ヒンジ104やフック105を備えた化粧料容器101を例示して説明したが、これに限らず、容器本体103に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体106を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

《第2実施形態》

以下に、本発明にかかる化粧料容器の第2実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧料容器201は第6図～第9図に示すように、収納凹部202が形成された皿状の合成樹脂製容器本体203と、容器本体203の一端にヒンジ204を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体203を開閉するとともに、容器本体203の他端にフック205を介して係脱自在に係合されて当該容器本体203の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体206と、蓋体206に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体206の表面206aを覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー207とから主に構成される。

図示例にあっては、これら容器本体203、蓋体206、並びに交換用カバー207は平面外形輪郭が矩形状に形成されるけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体206の裏面6bには、鏡208が取り付けられている。

フック205は、容器本体203の一端に形成された凹所209内に突設されたフ

ック用突起210と、蓋体206の一端から垂下されてフック用突起210に係脱自在に係合されるフック片211とから構成される。またヒンジ204は、フック205とは反対側において容器本体203の他端から一対突設されたヒンジ片212間に、蓋体206の他端から垂下させたヒンジ部としてのヒンジブロック213が挟み込まれ、これらヒンジブロック213からヒンジ片212にわたって形成したピン穴214にヒンジピン（図示せず）が挿入されることで構成され、ヒンジブロック213はヒンジピンによりヒンジ片212を介して容器本体203に回動自在に連結される。

交換用カバー207は、化粧料容器201、本実施形態にあっては蓋体206の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー207に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることができないように、交換用カバー207に対し一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。

これら交換用カバー207は、その外形輪郭が容器本体203の外形輪郭と一致するようにほぼ同じ外形寸法で形成されるとともに、この交換用カバー207が取り付けられる蓋体206は、取り付け代を確保するためにこれらよりも若干小さな外形寸法で形成され、交換用カバー207はこの蓋体206の上にこれを覆って重ね合わされる。交換用カバー207の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。

交換用カバー207と蓋体206との間には、これらを係脱自在に係合する係合手段として、第1係合部215および第2係合部216が設けられる。これら係合部215、216は、蓋体206の両端であるフック205側およびヒンジ204側にそれぞれ位置される。蓋体206のフック205周辺およびヒンジ204周辺は、容器本体203側へ拡張形成されていて、蓋体206の一般部分よりも広いスペースが得られる。フック205側の第1係合部215は、蓋体206側の第1係合体215aと交換用カバー207側の第1被係合体215bとから構成される。

第1係合体215aは、フック片211が位置する蓋体206の一側縁全体をヒンジ204側へ向かって段違いに窪ませた凹部217の上に、この凹部217を部分的に覆うように突出させて形成される。また第1被係合体215bは、第1係合体215a側の交換用カバー207の一側縁全体を垂下させた垂下部218から、第1係合

体215aに対応する部分を当該第1係合体215a下の凹部217に向かって突出させて形成される。

これら第1係合体215aと第1被係合体215bは、交換用カバー207を蓋体206の上から重ね合わせることによって、第1被係合体215bが第1係合体215aを乗り越えてその下の凹部217内に入り込むことにより、互いに係脱自在に係合されるようになっている。特に、乗り越える過程で第1被係合体215bが第1係合体215aと向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面219で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第1係合体215aと第1被係合体215bの隅角部同士120は、互いの係合が外れにくいように角をつけて形成される。

ヒンジ204側の第2係合部216も第1係合部215と同様に、蓋体206側の第2係合体216aと交換用カバー207側の第2被係合体216bとから構成される。ヒンジブロック213には第6図および第7図に示すように、蓋体206上に重ね合わされる交換用カバー207へ向かって蓋体206を上下方向に貫通する貫通孔221が形成され、この貫通孔221によって蓋体206ないしヒンジブロック213には部分的に、内壁部213aと外壁部213bとが形成される。またヒンジブロック213の鏡208に面する、すなわち蓋体206の表面206aとは反対側の裏面206bに面する側面には、貫通孔221を取り囲むようにして、窪み部222が形成される。そして内壁部213aにはこれより貫通孔221内へ突出させて第2係合体216aが形成される。

他方、交換用カバー207には、そのヒンジ側端縁全体を蓋体206側に向かって垂下させて、蓋体206のヒンジ側端縁全体に形成された凹所223に嵌め合わされる垂下部224が形成されるとともに、この垂下部224よりも内側には、貫通孔221を貫通して蓋体206から窪み部222内に露出される操作片225が形成される。本実施形態にあっては、この操作片225は、弾性をもって可撓変形可能のように、交換用カバー207から相当の長さで垂下されて形成される。そしてこの操作片225には、第2係合体216aと向かい合うように突出させて、当該第2係合体216aと係脱自在に係合される第2被係合体216bが形成される。

これら第2係合体216aと第2被係合体216bも、交換用カバー207を蓋体

206の上から重ね合わせると、第2被係合体216bが第2係合体216aを乗り越えて互いに係脱自在に係合されるようになっている。この第2係合部216にあっては、乗り越える過程で第2係合体216aおよび第2被係合体216bが互いに向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテープ面226, 227で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第2係合体216aと第2被係合体216bの隅角部同士228は、互いの係合が外れにくいように角をつけて形成される。

本実施形態にかかる化粧料容器201の作用について説明すると、第8図および第9図にも示すように、化粧料容器201を購入した購買者が蓋体206に装着されている交換用カバー207を、他のデザインの新たな交換用カバー207に交換する際には、蓋体206を上下方向に回動させて容器本体203を開き、蓋体の裏面に現れたヒンジブロック213の窪み部222に露出されている操作片225を、窪み部222の奥に向かって押圧操作する。

操作片225を押圧操作すると、当該操作片225の可撓変形を伴って第2被係合体216bは第2係合体216aから離脱されるので、その後交換用カバー207を蓋体206に対して引き離すようする。このようにして第2係合部216を離脱させて交換用カバー207を蓋体206から分離させると、第1係合部215の第1係合体215aと第1被係合体215bとの係合を離脱させることができ、交換用カバー207を蓋体206から取り外すことができる。

次いで新たな交換用カバー207を蓋体206に装着する際には、第1係合部215を係合させた状態で、第2係合部216側において交換用カバー207を蓋体206に向かって押し付ければ、操作片225が貫通孔221内に入り込むとともに、その可撓変形によって第2被係合体216bが第2係合体216aと係合し、これにより新しい交換用カバー207を蓋体206に重ね合わせて取り付けることができる。

以上説明したようにこの第2実施形態にかかる化粧料容器201にあっては、蓋体206にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバー207と、蓋体206に、交換用カバー207へ向かって形成された貫通孔221と、貫通孔221内に形成された第2係合体216aと、交換用カバー207に形成され、貫通孔221を貫通して蓋体206から露出される操作片225と、操作片225に形成され、第2係合体216aに係脱自在に係合される第2被係合体216bとを備えたので、化粧料容器

201の外観が生産者の選定したデザインに限定されることはなく、化粧料容器201として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

また交換用カバー207としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー207から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることができなくて、製品としての化粧料容器201を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。また、交換用カバー207と蓋体206との間にこれらを係脱自在に係合する第1係合部215および第2係合部216を設けていて、これら係合部215, 216の係脱操作によって、簡単に交換用カバー207の交換をすることができる。

さらに、この第2実施形態にあっては、交換用カバー207が蓋体206にその表面206aを覆って設けられ、蓋体206には、容器本体203を開閉するために当該容器本体203に回動自在に連結されるヒンジプロック213が設けられ、貫通孔221がヒンジプロック213に形成されるとともに、操作片225が蓋体206の表面206aとは反対側の裏面206bから露出されるので、ヒンジプロック213を利用して、交換用カバー207を蓋体206に取り付けるための貫通孔221や第2係合部216aを備えるためのスペースが確保されて、化粧料容器201の外形寸法を大きくすることなく、合理的に第2係合部216を備えることができるとともに、操作片225がヒンジプロック213において蓋体206の裏面206bに露出されることから、蓋体206を閉じているときはもちろんのこと、開いた状態でも化粧料容器201の外観を良好に維持することができる。

また、第2被係合部216bを係脱させる操作片225が、バネ性をもって可撓変形自在であるので、第2係合部216の係脱操作の操作性を向上させることができる。

本実施形態にあっては、ヒンジ204やフック205を備えた化粧料容器201を例示して説明したが、これに限らず、容器本体203に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体206を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

《第3実施形態》

以下に、本発明にかかる化粧料容器の第3実施形態を、添付図面を参照して詳細に

説明する。この第3実施形態にかかる化粧料容器301は第10図～第15図に示すように、収納凹部302が形成された皿状の合成樹脂製容器本体303と、容器本体303の前後方向後端にヒンジ304を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体303を開閉するとともに、容器本体303の前端にフック305を介して係脱自在に係合されて当該容器本体303の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体306と、蓋体306に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体306の外面306aを覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー307とから主に構成される。

交換用カバー307の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、交換用カバー307は容器本体303を覆って設けられてもよく、また蓋体306および容器本体303の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体303、蓋体306、並びに交換用カバー307は平面外形輪郭が矩形状に形成されるけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体306の内面306bには、鏡308が取り付けられている。

フック305は、容器本体303の前端に形成された凹所309内に突設されたフック用突起310と、蓋体306の前端から垂下されてフック用突起310に係脱自在に係合されるフック片311とから構成される。またヒンジ304は、フック305とは反対側において容器本体303の後端から一対突設されたヒンジ片312間に、蓋体306の後端から垂下させたヒンジプロック313が挟み込まれ、これらヒンジプロック313からヒンジ片312にわたって形成したピン穴314にヒンジピン(図示せず)が挿入されることで構成され、ヒンジプロック313はヒンジピンを介してヒンジ片312に対し回動自在に連結される。

交換用カバー307は、化粧料容器301、本実施形態にあっては蓋体306の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー307に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー307に対し一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。

これら交換用カバー307は、その外形輪郭が容器本体303の外形輪郭と一致するようにほぼ同じ外形寸法で形成されるとともに、この交換用カバー307が取り付

けられる蓋体306は、取り付け代を確保するためにこれらよりも若干小さな外形寸法で形成され、交換用カバー307はこの蓋体306の上にこれを覆って重ね合わされる。

交換用カバー307と蓋体306との間には、これらを係脱自在に係合する係合手段として、第1係合部315および第2係合部316が設けられる。これらの係合部315、316は、蓋体306の前後方向両端であるフック305側およびヒンジ304側にそれぞれ位置される。フック305側の第1係合部315は、蓋体306側の第1係合体315aと交換用カバー307側の第1被係合体315bとから構成される。

第1係合体315aは、フック片311が位置する蓋体306の一側縁全体をヒンジ304側へ向かって段違いに窪ませた凹部317の上に、この凹部317を部分的に覆うように突出させて形成される。また第1被係合体315bは、第1係合体315a側の交換用カバー307の前側縁全体を垂下させた垂下部318から、第1係合体315aに対応する部分を当該第1係合体315a下の凹部317に向かって突出させて形成される。

これら第1係合体315aと第1被係合体315bは、交換用カバー307を蓋体306の上から重ね合わせることによって、第1被係合体315bが第1係合体315aを乗り越えてその下の凹部317内に入り込むことにより、互いに係脱自在に係合されるようになっている。特に、乗り越える過程で第1被係合体315bが第1係合体315aと向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面319で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第1係合体315aと第1被係合体315bの隅角部同士320は、互いの係合が外れにくくするために角をつけて形成される。

ヒンジ304側の第2係合部316も第1係合部315と同様に、蓋体306側の第2係合体316aと、被係合部である交換用カバー307側の第2被係合体316bとから構成される。蓋体306にはその外面306aに窪み部321が形成される。この窪み部321は第10図～第12図に示すように、蓋体306の後端中央部から下方のヒンジブロック313にわたって相当の深さで、上方および後方へ向かって開放されるように形成され、ヒンジブロック313の後面にU字状の開口322を区画

するとともに、開口322の下方には溝部323を区画するように形成される。そして溝部323内にはU字状の開口322の下端に位置させて、窪み部321内に突出する第2係合体316aが形成される。

他方、交換用カバー307には、そのヒンジ側端縁全体を蓋体306側に向かって垂下させて、蓋体306のヒンジ側端縁全体に形成された棚部324に載置される垂下部325が形成されるとともに、この垂下部325からさらに下方へ開口322の形状に合わせて弾性的に可撓変形可能に垂下され、当該開口322にはめ合わされて窪み部321を隠蔽する操作片326が設けられる。そしてこの操作片326の下端には第2係合体316aと向かい合うように、これよりL字状に屈曲されて溝部323内に挿入され、当該第2係合体316aと係脱自在に係合される第2被係合体316bが形成される。

これら第2係合体316aと第2被係合体316bも、交換用カバー307を蓋体306の上から重ね合わせると、第2被係合体316bが第2係合体316aを乗り越えて互いに係脱自在に係合されるようになっている。この第2係合部316にあつては、乗り越える過程で第2係合体316aおよび第2被係合体316bが互いに向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面327、328で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第2係合体316aと第2被係合体316bの隅角部同士329は、互いの係合が外れにくくように角をつけて形成される。

この第3実施形態にかかる化粧料容器301の作用について説明すると、第13図および第14図にも示すように、化粧料容器301を購入した購買者が蓋体306に装着されている交換用カバー307を、他のデザインの新たな交換用カバー307に交換する際には、ヒンジブロック313の開口322にはめ合わされている操作片326を、化粧料容器301の前方へ窪み部321の奥に向かって押圧操作する。

操作片326を押圧操作すると、当該操作片326の可撓変形に応じて第2被係合体316bは第2係合体316aから離脱されるので、その後交換用カバー307を蓋体306に対して引き離すように持ち上げる。このようにして第2係合部316を離脱させて交換用カバー307を蓋体306から分離させると、第1係合部315の第1係合体315aと第1被係合体315bとの係合を離脱させることができ、交換用カバー307を蓋体306から取り外すことができる。

次いで新たな交換用カバー307を蓋体306に装着する際には、第1係合部315を係合させた状態で、第2係合部316側において交換用カバー307を蓋体306に向かって押し付ければ、操作片326が開口322にはめ合わされると同時に、その可撓変形によって第2被係合体316bが第2係合体316aと係合し、これにより新しい交換用カバー307を蓋体306に重ね合わせて取り付けることができる。

以上説明したように、この第3実施形態にかかる化粧料容器301にあっては、蓋体306に、これを覆って交換可能に設けられる交換用カバー307と、蓋体306の外面306aに形成された窪み部321と、窪み部321内に設けられた第2係合体316aと、交換用カバー307に設けられ、窪み部321を隠蔽する可撓変形可能な操作片326と、操作片326に第2係合体316aと係脱自在に設けられ、操作片326の可撓変形に応じて当該第2係合体316aから離脱される第2被係合体316bとを備えたので、化粧料容器301の外観が生産者の選定したデザインに限定されることはなく、化粧料容器301として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

また交換用カバー307としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー307から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器301を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。また、交換用カバー307と蓋体306との間にこれらを係脱自在に係合する第1係合部315および第2係合部316を設けていて、これら係合部315, 316の係脱操作によって、簡単に交換用カバー307の交換をすることができる。

さらに、本実施形態にあっては、交換用カバー307が蓋体306にその外面306aを覆って設けられ、蓋体306には、容器本体303を開閉するために当該容器本体303に回動自在に連結されるヒンジブロック313が設けられ、窪み部321が蓋体306からヒンジブロック313にわたって形成されるとともに、操作片326がヒンジブロック313の開口322にはめ合わされるので、ヒンジブロック313を利用して、交換用カバー307を蓋体306に着脱するための窪み部321や第2係合体316a、操作片326を備えるためのスペースを確保することができ、化粧料容器301の外形寸法が大きくなることを防止できる。

また、窪み部321を操作片326で隠蔽するようにしているので、化粧料容器301の外観を良好なものとすることができます。さらに、第2被係合部316bを係脱させる操作片326が、弾性的に可撓変形自在であるので、第2係合部316の係脱操作の操作性を向上させることができる。

第15図には、上記第3実施形態の変形例が示されている。この変形例は、交換用カバー307からの操作片326の垂下量を短くできるようにしたもので、交換用カバー307に操作片326を挟んで一対のスリット330が形成される。このように構成すれば、例えば容器本体303の深さが浅くて、ヒンジプロック313の開口322を大きく形成することができなくても、スリット330によって操作片326の垂下量を確保できて柔軟に可撓変形させることができる。このような変形例にあっても上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。

上述した第3実施形態にあっては、蓋体306に交換可能にこれを覆う交換用カバー307を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体303に交換用カバー307を設けるようにしても良い。この場合には、ヒンジ片312を利用して窪み部321や第2係合部316aを設けるようにすればよい。

この第3実施形態にあっては、ヒンジ304やフック305を備えた化粧料容器301を例示して説明したが、これに限らず、容器本体303に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体306を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

産業上の利用可能性

以上、本発明の実施形態によって詳細に説明したように、本発明に係わる化粧料容器によれば、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けることにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができるとともに、かつまた購買者が好みに応じて外観を選択し得る自由度を高めることができる。

請求の範囲

1. 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けたことを特徴とする化粧料容器。
2. 前記交換用カバーと前記蓋体もしくは前記容器本体との間に、これらを係脱自在に係合する係合手段が設けられることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の化粧料容器。
3. 前記交換用カバーおよび前記容器本体もしくは前記蓋体のいずれか一方には、可撓変形自在なペント片が形成され、前記係合手段が、上記ペント片に形成された係合体と、上記交換用カバーおよび上記容器本体もしくは上記蓋体のいずれか他方に形成されて上記係合体に係脱自在に係合される被係合体とから構成されることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の化粧料容器。
4. 前記容器本体と前記蓋体との間にはそれらの両端にそれぞれ、これらを回動自在に連結するヒンジおよび該蓋体による該容器本体の閉止状態を維持するフックが設けられ、前記係合手段がこれらフック側およびヒンジ側に備えられることを特徴とする請求の範囲第2項または第3項に記載の化粧料容器。
5. 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋体に、上記交換用カバーへ向かって形成された貫通孔と、該貫通孔内に形成された係合体と、上記交換用カバーに形成され、上記貫通孔を貫通して上記蓋体から露出される操作片と、該操作片に形成され、上記係合体に係脱自在に係合される被係合体とを備えたことを特徴とする化粧料容器。
6. 前記交換用カバーが前記蓋体にその表面を覆って設けられ、上記蓋体には、前記容器本体を開閉するために該容器本体に回動自在に連結されるヒンジ部が設けられ、前記貫通孔が上記ヒンジ部に形成されるとともに、前記操作片が上記蓋体の表面とは反対側の裏面から露出されることを特徴とする請求の範囲第5項に記載の化粧料容器。
7. 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に設けられる交

換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体の外面に形成された窪み部と、該窪み部内に設けられた係合部と、上記交換用力バーに設けられ、上記窪み部を隠蔽する可撓変形可能な操作片と、該操作片に上記係合部と係脱自在に設けられ、該操作片の可撓変形に応じて該係合部から離脱される被係合部とを備えたことを特徴とする化粧料容器。

要 約 書

容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けることにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることを可能にするとともに、かつまた購買者が好みに応じて外観を選択し得る自由度を高めることを可能にする。